

鹿児島県柔道会だより

■発行人：北 哲郎 ■編集：総務部編集委員会 ■発行：公益財団法人鹿児島県柔道会(099-222-7770)

平成24年度第9回 全国小学生学年別柔道大会 (九州で最初の鹿児島県開催)

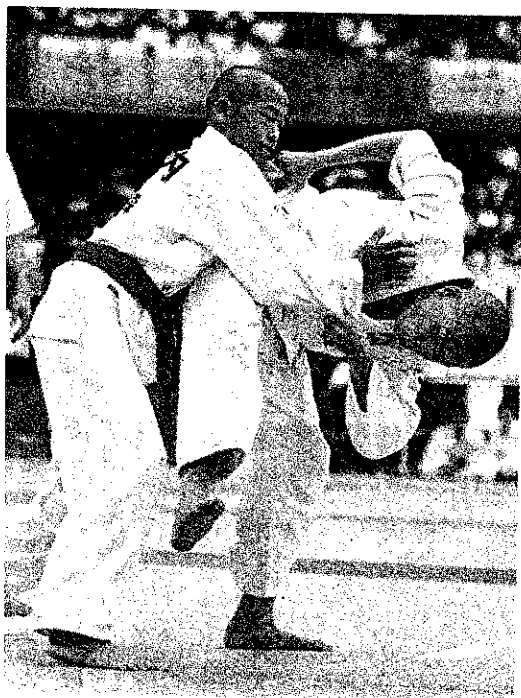
・6年生男子50Kg級
☆優勝 内村 秀資

(鹿児島県：光武館)

平成24年度第9回全国小学生学年別柔道大会が、8月26日(日)に九州で初めて鹿児島アリーナで開催され、全国の都道府県を代表する精鋭、約400人の柔道少年・少女たちが熱戦を展開しました。

奇しくも、ロンドンオリンピックの日本柔道が不振を極めた直後に開催された大会でしたが、将来の日本柔道を背負って立つであろう姿に希望と期待を抱かせるものでした。

地元鹿児島県からは、16人の選手が出場しましたが、見事 内村 秀資君(光武館)が優勝を飾り地元開催に花を添えてくれました。



(右、光武館)

積極的な攻めで優勢勝ちした内村秀資
鹿児島アリーナ

・北信越かがやき総体(柔道競技)
柔道女子個人戦78Kg級
☆鹿南 高山 莉加 初優勝!!



8月6日富山県射水アルビス小杉総合体育センターで開催された2012年度全国高校総合体育大会で、柔道女子個人戦78Kg級の高山莉加選手(鹿児島南高)が初優勝しました。柔道個人戦の県勢制覇は、昨年の稲森奈見選手(78Kg 超級)に続いて2人目で、鹿児島南高校として2年連続の重量級の栄冠となりました。

高山莉加選手は、初戦から決勝戦まで全て1本勝ちで、決勝戦では山中満紀選手(岐阜大垣日大)を上四方固めで下しました。決勝までの戦いは、5回ありましたが、全て抑え技で制する見事なものでありました。

・講道館講習会「安全指導」

6月23日(土)

県総合体育センター武道館柔道場
講道館主催、鹿児島県柔道会主管において
標記の講習会が開催されました。

講師として講道館道場指導部の向井幹博七段を迎え、県中学校強化練習に参加している中学生・指導者・保護者に対して、講道館での練習時に取り組んでいる安全管理の実施方法など、具体的な指導が有り受講者全員が安全管理・指導に対する認識を新たにしています。

・南九州「形」講習会

6月24日(日):鹿児島アリーナ

講道館から松下三郎九段、福島美智男八段、
鮫島元成七段、向井幹博七段をお迎えし、熊本県、
宮崎県、鹿児島県から130名を超える受講者を
集め、講道館主催の標記講習会が開催されました。

開講式では、北哲郎会長の挨拶の後、講師を代表して本県出身である松下三郎九段から「形」の重要性について具体的に述べられました。その中で、「形」において大切なことは、第1に姿勢であり、第2に礼法であると話され、多くの受講生が深く頷いておりました。

その後、「形」の実技が4会場に分かれて、「古式の形」を福島先生、「極めの形」を松下先生、「柔の形」を鮫島先生、「講道館護身術」を向井先生に熱心に指導をして頂きました。

まとめとして、各会場の成果を発表するため、指導頂いた4つの「形」から1組ずつ代表が演技を行いました。

最後に、受講生を代表して、修学館中・高等学校の鈴義和先生から謝辞があり講習会の全てを終了しました。



・秋季国体九州ブロック大会にて全種別で出場権獲得!(本県初めての快挙)

8月19日(日) 沖縄県立武道館

- ☆2位 少年女子(岐阜国体出場権獲得)
- ☆2位 成年女子(岐阜国体出場権獲得)
- ☆3位 少年男子(岐阜国体出場権獲得)

岐阜国体 県代表選手団

【成年男子】

- 監督 北薊 季康(鹿児島県警)
- 大将 堂前 賢吾(鹿児島県警)
- 副将 中原 史貴(鹿児島県警)
- 中堅 林 優輔(鹿屋体育大)
- 次鋒 堅山 剛(鹿児島情報高校教)
- 先鋒 齋藤 昴矢(鹿屋体育大)

【成年女子】

- 監督 中村 勇(鹿屋体育大教)
- 大将 稲森 奈見(三井住友海上火災) 鹿児島県
- 中堅 古賀ちなつ(鹿屋体育大)
- 先鋒 森崎由理江(鹿屋体育大)

【少年男子】

- 監督 田原 幸一(明桜館高校教)
- 大将 飛松 直樹(鹿児島情報高校)
- 副将 下村 柔悟(鹿児島情報高校)
- 中堅 竹下 恭平(明桜館高校)
- 次鋒 近藤 航牙(鹿児島情報高校)
- 先鋒 加藤 駿(明桜館高校)

【少年女子】

- 監督 吉村 智之(国分中央高校教)
- 大将 高山 莉加(鹿児島南高校)
- 中堅 榎谷 有里(鹿児島南高校)
- 先鋒 前田 千島(国分中央高校)

岐阜国体柔道競技は、10月6日(土)から8日(月)まで開催されます。

今回は、九州ブロック予選が実施されるようになって、初めての全種別出場権を獲得するという快挙を達成しました。

9月22日(土)に城山観光ホテルで盛大に壮行会を行い、北会長からの叱咤激励と監督からの頼もしい決意表明がありました。九州での勢いを岐阜国体でも遺憾なく発揮してください。期待しています。

・鹿児島県体育協会表彰者

【体育功労者】

- 黒木 徳男さん
長年にわたり本県柔道の振興に尽力し、多大の貢献をした。
- 米倉 優一さん
長年にわたり本県柔道の振興に尽力し、多大の貢献をした。

(道場めぐり 16)

出水柔道スポーツ少年団の歩みと現状

代表者 松尾 剛

出水柔道スポーツ少年団は、昭和51年に少年団として認定され活動していますが、それ以前から少年柔道は結成され早くから活動は行われていました。

県下少年柔道大会に第1回大会から出場し、先輩方は、数々の栄光を納めて参りました。

現在、団員は小学校1年生から6年生までの16名と指導者3名で、月・水・土の週3回、出水市総合武道館で熱心に稽古に励んでいます。子供たちには、まず、柔道を好きになってもらうことと稽古の中で、礼儀・礼節をしっかりと身につけさせてることを目標に指導しています。

稽古の初めには、必ず薩摩柔道ルネッサンス宣言を復唱し稽古に入ります。稽古の中では、強さだけ求めず相手を敬う気持ちを大切にし、まず、道場で顔を合わせたら先生方・保護者の方・道場の仲間に挨拶をし、道場の出入りの際にも必ず一礼をするなど、普段からしっかりと挨拶ができるよう心掛けています。

また、稽古では、相手としっかりと組み合い技を繰り出すことを出水柔道のモットーにしています。

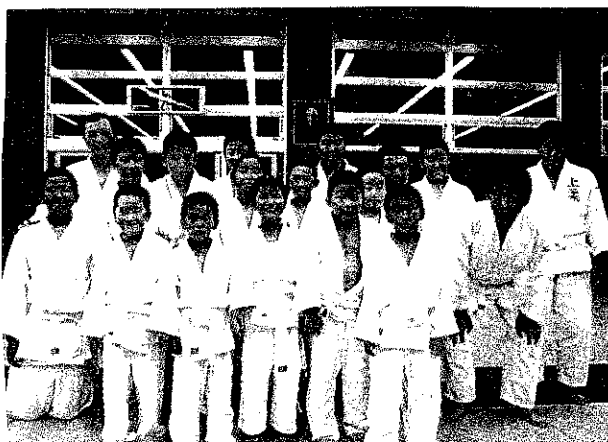
打ち込みなどの反復練習の際は、技を掛ける相手に対し、技を受ける側が気づいたことを自らアドバイスするなど、お互いがお互いのことを想って取り組むようにしています。

私も少年団の指導を引き継いで8年の月日が経ちますが、沢山の子供たちが卒団していきましました。その子供たちもそれぞれ高校・大学・社会人として立派に活躍してくれています。

その中には、高い目標を持ち続けながら今も稽古に励んでいる子や将来、ここに帰って来て先生と一緒に指導するのが夢です。と話してくれる子供もいます。

心から柔道を好きになってくれた子供たちに感謝の気持ちで一杯です。柔道は、精神的にも肉体的にも自分を成長させ、そして、礼儀・礼節を重んじる素晴らしい武道であります。これからの子供たちに希望することは、柔道で培った「精力善用」「自他共栄」の精神で、世の中に貢献できる人格者になってもらいたいことです。

最後に、今後とも、一緒に指導に当たってくださる先生方や保護者の方々、出水市柔道会の先輩方の協力を得ながら、自分が生まれ育てて頂いたこの鹿児島、出水の大地から柔道を通して立派な人間育成に貢献できるよう精進して参ります。



(道場めぐり 17)

立神柔道スポーツ少年団活動

代表者 池上 邦廣

立神柔道スポーツ少年団は、今年で30年を迎えます。柔道を通じて子供たちに学んで貰いたいことは、1 大きな声で挨拶が出来ること。2 オオカミ少年にならないこと。3 人をいじめないこと。4 掃除や人が嫌がることを先頭に立って行うこと。5 毎日日本を読むこと。6 玄関の靴等を揃えること。7 腕立てを毎日50回以上すること等を目標に掲げて、週3回、火・木・金の午後5時から7時までの2時間の練習をしています。

練習内容は、最初に800mのランニングから始まり、柔軟体操(特に、腰を強くするトレーニング)等を行い、受け身の練習、立ち技の打ち込み、寝技の練習を行います。

子供たちに技を教えるとき、足さばき、手さばきの順番を間違わないようにと教えています。漢字に例えて、書き順を間違えれば汚い漢字になり、読めないのと同じで柔道の技も手順どおりに手、足を運ばないと相手を投げられないと教えています。

取と受に別れ1分間ずつの約束練習を30分間、この1分間に何回の連続技を掛けられるかの練習、相手を崩して技を掛ける練習。残りの時間は、立ち技・寝技の乱取り、最後は、サーキットをして終わりにします。

練習期間中、月に1回は縄跳び、ケンケン相撲等20分間のレクリエーション、年1回の船に乗った定置網体験キャンプ等を行っています。また、毎年、鏡開きには親子柔道大会を行います。この行事は、30年間続いており、3年生以下はお母さんと対戦し、4年生以上はお父さんと対戦します。父母は、3分間は長く息が上がりが体が動かず最後には子供たちに投げられています。

立神柔道スポーツ少年団の募集方法を紹介したいと思います。基本的には、学校側が各スポーツ少年団の募集をしますが、これでは入団員が少ないため自分で団員を集めているのが現状です。具体的には、運動会を見に行き、踊りの上手な子や足の速い子を見つけては、家庭訪問をし、4年生からは他のスポーツ少年団に入団してもかまわないことを条件に入団してもらっています。簡単に入団してくれて大成功だったのが、カブトムシ作戦でした。下校時、校門の前でカブトムシを1・2年生に見せて柔道を見学に来たら3匹あげると話しかけ、見学に来た子は11名で全員入団させました。

そのカブトムシで釣った子供たちが小学校の部や中学校の部で県大会において優勝し、全国大会に出場した子供たちです。

今の子供は、ゲーム機に夢中なのか話に乗らず入団が困難な状態です。各団の指導者の皆さん、昔より柔道愛好者が少なくなりましたが、鹿児島県柔道発展のため、柔道を盛り上げて頑張りましょう。



各種大会の成績(6月~9月)

・県ジュニア体重別選手権大会

6月9日(土) 鹿児島アリーナ

◇男子(55Kg級)

- 1位 黒川 嵩平(鹿屋体育大学)
2位 川畑 翔(明桜館高等学校)

◇男子(60Kg級)

- 1位 齋藤 昂矢(鹿屋体育大学)
2位 加藤 駿(明桜館高等学校)

◇男子(66Kg級)

- 1位 田中 佑季(鹿屋体育大学)
2位 古川 大樹(鹿屋体育大学)

◇男子(73Kg級)

- 1位 角町 秀貴(鹿屋体育大学)
2位 近藤 航牙(鹿児島情報高等学校)

◇男子(81Kg級)

- 1位 徳永 一光(鹿屋体育大学)
2位 盛田 勝義(明桜館高等学校)

◇男子(90Kg級)

- 1位 竹下 恭平(明桜館高等学校)
2位 田中 健児(鹿児島情報高等学校)

◇男子(100Kg級)

- 1位 下村 柔悟(鹿児島情報高等学校)
2位 徳田 翼(明桜館高等学校)

◇男子(100Kg超級)

- 1位 飛松 直樹(鹿児島情報高等学校)
2位 鼻崎 悠太(鹿屋体育大学)

◇女子(44Kg級)

- 1位 小西 香澄(れいめい高等学校)
2位 日笠山 愛(川内商工高等学校)

◇女子(48Kg級)

- 1位 道場 有希(れいめい高等学校)
2位 東馬場 ちはる(国分中央高等学校)

- ◇女子(52Kg級)
 - 1位 前田 千島(国分中央高等学校)
 - 2位 永田あいら(鹿児島玉龍高等学校)
- ◇女子(57Kg級)
 - 1位 岡村 舞子(鹿児島水産高等学校)
 - 2位 永田ひかり(鹿児島南高等学校)
- ◇女子(63Kg級)
 - 1位 神村 もも(鹿児島南高等学校)
 - 2位 上田 結香(鹿屋体育大学)
- ◇女子(70Kg級)
 - 1位 高山 莉加(鹿児島南高等学校)
 - 2位 榎谷 有里(鹿児島南高等学校)
- ◇女子(78Kg級)
 - 1位 花田 有稀(鹿児島南高等学校)
 - 2位 弥榮まどか(鹿児島南高等学校)
- ◇女子(78Kg超級)
 - 1位 山下 里奈(国分中央高等学校)
 - 2位 鬼塚葉瑠奈(鹿児島情報高等学校)

・県下中学校柔道大会

6月10日(日) 鹿児島アリーナ

- ◇団体戦(男子)
 - 1位 末吉中学校
 - 2位 中種子中学校
 - 3位 志布志中学校
 - 3位 隼人中学校
- ◇団体戦(女子)
 - 1位 舞鶴中学校
 - 2位 鹿屋東中学校
 - 3位 末吉中学校
 - 3位 伊敷中学校

- ◇個人戦(男子)
 - 1位 江夏 司(川内中央中学校)
 - 2位 徳田 大地(隼人中学校)

- ◇個人戦(女子)
 - 1位 青柳 麗美(舞鶴中学校)
 - 2位 前野 彩(川辺中学校)

・県下小学生学年別柔道大会

6月17日(日) 鹿児島アリーナ

- ◇男子4年生(40Kg級)
 - 1位 立石 倫大(南種子)
 - 2位 立石 啓人(南種子)
- ◇男子4年生(40Kg超級)
 - 1位 森田 康真(天城)
 - 2位 小島 大尚(三笠)

- ◇男子5年生(45Kg級)
 - 1位 濱田 聖良(南種子)
 - 2位 岩坪 翔輝(正道館)
- ◇男子5年生(45Kg超級)
 - 1位 早田 悠(南界)
 - 2位 岩坪 龍輝(正道館)
- ◇男子6年生(50Kg級)
 - 1位 内村 秀資(光武館)
 - 2位 柞木 速斗(かわなべ)
- ◇男子6年生(50Kg超級)
 - 1位 福重 啓世(末吉)
 - 2位 井上 隆斗(枕崎)
- ◇女子4年生(35Kg級)
 - 1位 前田 彩(内)
 - 2位 城戸 鼓夢(県武館)
- ◇女子4年生(35Kg超級)
 - 1位 芝原 和花(かわなべ)
 - 2位 寺口 伊香(光武館)
- ◇女子5年生(40Kg級)
 - 1位 中馬 梨歩(米倉)
 - 2位 三崎 茉莉(米倉)
- ◇女子5年生(40Kg超級)
 - 1位 宮田 礼奈(末吉)
 - 2位 川村 愛美(伊佐)
- ◇女子6年生(45Kg級)
 - 1位 有馬さくら(加世田)
 - 2位 西 李香(修道館)
- ◇女子6年生(45Kg超級)
 - 1位 上釜さくら(枕崎)
 - 2位 野田 笑里(双葉)

・全九州高校総体(柔道競技)

6月16日(土)・17日(日)

熊本県桃田運動公園

☆下村 柔悟(鹿情報)個人優勝

☆榎谷 有里(鹿南)個人優勝

- ◇男子個人戦(73Kg級)
 - 3位 近藤 航牙(鹿児島情報高校)
- ◇男子個人戦(81Kg級)
 - 3位 半渡 勝也(鹿児島商業高校)
- ◇男子個人戦(90Kg級)
 - 3位 竹下 恭平(明桜館高校)
- ☆男子個人戦(100Kg級)
 - 優勝 下村 柔悟(鹿児島情報高校)
- ◇女子個人戦(57Kg級)
 - 3位 岡村 舞子(鹿児島水産高校)

☆女子個人戦(70Kg級)

優勝 榎谷 有里(鹿児島南高校)

◇女子個人戦(78Kg級)

2位 高山 莉加(鹿児島南高校)

・県中学校総体(柔道競技)

7月24日(火)・25日(水)

鹿児島アリーナ

◇団体戦(男子)

- 1位 鹿屋東中学校
- 2位 中種子中学校
- 3位 末吉中学校
- 4位 金久中学校

◇団体戦(女子)

- 1位 舞鶴中学校
- 2位 伊敷中学校
- 3位 末吉中学校
- 4位 鹿屋東中学校

個人戦(男子)

◇男子(50Kg級)

- 1位 宮田寅之介(川辺中学校)
- 2位 小林 翔(伊敷中学校)

◇男子(55Kg級)

- 1位 田中 秀伍(川辺中学校)
- 2位 松元 聡太(吉野中学校)

◇男子(60Kg級)

- 1位 内村 光暉(鹿屋東中学校)
- 2位 安達 乃真(鹿屋東中学校)

◇男子(66Kg級)

- 1位 松岡 剣心(末吉中学校)
- 2位 天川 翔真(牧之原中学校)

◇男子(73Kg級)

- 1位 吉野 敦哉(野田中学校)
- 2位 浦田祥太郎(中種子中学校)

◇男子(81Kg級)

- 1位 半渡 賢太(中種子中学校)
- 2位 大脇 充倫(伊敷中学校)

◇男子(90Kg級)

- 1位 徳田 大地(隼人中学校)
- 2位 実 大尊(古仁屋中学校)

◇男子(90Kg超級)

- 1位 江夏 司(川内中央中学校)
- 2位 小牟田修一(阿久根中学校)

個人戦(女子)

◇女子(44Kg級)

- 1位 阿久根深菜美(万世中学校)
- 2位 久保田ひなの(中種子中学校)

◇女子(48Kg級)

- 1位 瀧川 琳花(伊敷中学校)
- 2位 熊井 知慧(谷山中学校)

◇女子(52Kg級)

- 1位 前野 彩(川辺中学校)
- 2位 吉時 春菜(谷山中学校)

◇女子(57Kg級)

- 1位 山下 優光(舞鶴中学校)
- 2位 幸田 奈々(末吉中学校)

◇女子(63Kg級)

- 1位 宮崎 繭(鹿屋東中学校)
- 2位 川窪 志歩(舞鶴中学校)

◇女子(70Kg級)

- 1位 青柳 麗美(舞鶴中学校)
- 2位 末吉 千湖(宮之城中学校)

◇女子(70Kg超級)

- 1位 古市 真愛(種子島中学校)
- 2位 小玉 りえ(末吉中学校)

・全国高校総体(柔道競技)

8月2日(木)～6日(月)

富山アルビス小杉

☆高山 莉加(鹿南)個人優勝

◇個人戦男子73Kg級

3位 近藤 航牙(鹿児島情報高校)



【柔道男子73kg級準決勝】積極的な攻めを見せる鹿児島情報・近藤航牙(右)

＝射水市アルビス小杉総合体育センター

- ◇個人戦男子90Kg級
3位 竹下 恭平(明桜館高校)
- ◇個人戦女子70Kg級
3位 榎谷 有里(鹿児島南高校)

【柔道女子個人78kg級決勝】上四方固めで一本勝ちした高山莉加(鹿児島南)



- ☆個人戦女子78Kg級
優勝 高山 莉加(鹿児島南高校)



- ・九州中学校総体(柔道競技)
8月10日(金)・11日(土)
沖縄県立武道館アリーナ

- ☆舞鶴中学校 団体戦女子 優勝
- ◇個人戦男子73Kg級
3位 吉野 敦哉(野田中学校)
- ◇個人戦男子90Kg級
3位 徳田 大地(隼人中学校)
- ◇個人戦女子57Kg級
3位 幸田 奈々(末吉中学校)
- ◇個人戦女子57Kg級
3位 山下 優光(舞鶴中学校)

- ・全日本ジュニア体重別選手権
9月8日(土)・9日(日)
埼玉県立武道館
- ◇女子78Kg級
3位 高山 莉加(鹿児島南高等学校)

- ・第66回県体柔道競技
9月16日(日) 鹿児島アリーナ

◇予選リンク
南さつま1-4曾於, 枕崎1-3川薩, 鹿児島3-0伊佐, 肝属0-1熊毛, 日置一大島(棄権), 出水0-3始良, 曾於3-2枕崎, 川薩1-2鹿児島, 伊佐1-3肝属, 熊毛4-0日置, 大島(棄権)-出水, 始良4-1南さつま

- ◇決勝トーナメント
熊毛0-1鹿児島, 始良1(代)-1曾於
- ◇決勝 鹿児島1-2始良

☆優勝 始良((2年ぶり))

第66回県民体育大会柔道競技は、始良・伊佐地区の始良が2年ぶりに優勝しました。誠にありがとうございます。

今大会は、台風15号の影響で大島地区が出場できなくなり、大変残念でありましたが、郷土を代表した選手たちは一生懸命戦い充実した大会となりました。

来年度の県民体育大会柔道競技は、平成25年9月15日(日)薩摩川内市で開催されます。

主な行事予定(10月~1月)

- 10月 6日 第67回国民体育大会(大畑)
- 10月24日 県高校新人柔道大会~25日
- 10月28日 妙円寺詣柔道大会
- 11月18日 県下少年柔道大会
- 11月24日 県選抜中学生強化練習
- 12月22日 県選抜中学生強化練習
- 12月26日 稽古納め
- 12月26日 寒稽古~27日(県武道館)
- 1月 5日 稽古始め
- 1月22日 県選抜中学生強化練習
- 1月26日 高校柔道選手権大会~27日

【編集後記】全国小学生学年別柔道大会の本県開催で内村選手が優勝し、高校総体でも高山選手が78Kg級で優勝するなど、「武の国薩摩」を全国に発信することができました。

薩摩柔道ルネッサンス宣言

私たちは柔道を通じて

- 一 立派な人間になります
- 一 弱い者をいじめません
- 一 ウソをつきません
- 一 礼儀を正しくします
- 一 自分に負けません

「柔道ルネッサンス標語」優秀作品

「柔道で 大きく育て 心技体」

向吉 湖菜 4年 青雲クラブ

「柔道で 世界に広がる 友情の輪」

黒岩 詩音 5年 出水柔道スポーツ少年団

「勝ったら笑顔 みんなへの感謝」

上迫 大生 5年 国分西柔道クラブ

「柔道で 未来につなごう 精力善用 自他共栄」

渡邊 慶次郎 5年 出水柔道スポーツ少年団

「心と体を鍛え 立派な人間になります」

吉元 悠真 4年 国分西柔道クラブ

「互いに礼 相手を敬い さあ一本！」

竹之内 慶太 6年 内柔道館